

2023年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

国際日本学研究科 国際日本学専攻 (博士前期課程)

科目： 専門科目 【日本語学・日本語教育学研究領域】

注意 1) 解答用紙は、指定された用紙を使用しなさい。その際、問題番号を明記すること。

(例 I-(1)、II-(2))

注意 2) 希望指導教員の所属する研究領域の問題を解答すること。

I. 論述問題

次の2題のうち1題を選択して、論述しなさい (字数の制限はありません)。

- (1) 日本語学では、話者の属性の違いや、表現様式や場面の違いによって、使用される言葉に違いが見られる現象を、位相差という。その位相差にもとづく言葉のバリエーションの具体例をいくつか挙げ、挙げた例それぞれについて、バリエーションが生まれる事情を説明しなさい。
- (2) 「私は隣の人に足を踏まれた。」という間接受身文は正用であるが、「? 隣人は私に足を踏まれた。」という間接受身文は、特定の文脈がなければ、不自然な文である。では、①後者の受身文はなぜ不自然なのか、その理由を説明しなさい、②後者の受身文が成立し得る文脈とはどのような文脈か、説明しなさい。

II. 解説問題

次の(1)～(4)の中から2つを選んで、解説しなさい (字数の制限はありません)。

- (1) 特殊拍
- (2) 情態副詞
- (3) 選択制限
- (4) 機能動詞結合